

日本ロシア文学会会報 第26号 2005年6月

1. 2005年度(第55回)定例総会・研究発表会 2. 2005年度(第55回)研究発表募集要項 3. 5月理事会関連事項 4. 会員異動

1. 2005年度(第55回) 定例総会・研究発表会

第55回定例総会・研究発表会は、きたる10月8日(土)、9日(日)の両日、早稲田大学で開催されます。また、10月7日(金)にはプレシンポジウムが開催されます。

詳しい日程は、会報第27号に掲載します。

今回会場校が東京都内であるため、飛行機の予約、ホテルの予約などについてのご案内はさし上げません。

2. 2005年度(第55回) 研究発表募集要項

(この項の内容をロシア語に訳したものを2ページに掲載しています)

研究発表の希望者は、題目と要旨を7月15日(金)までに(必着)事務局宛に送付(郵送)してください(要旨は題目をのぞいて本文400字以内(ロシア語の場合150word以内)とします。書式は自由ですが、用紙はA4を使用してください。郵送以外の申し込みは受け付けません。また締め切り後の申し込みも受け付けません。締め切り後に申し込みがあった場合、申し込みを受け付けなかった旨のご連絡はいたしませんので、余裕をもって申し込まれるようお願いいたします。

なお、本年度は、昨年度とは異なり、プレプリント提出が義務となります(日本ロシア文学会のホームページに事前に掲載されます。詳しくは会報27号をご覧ください)。

また、次の点をご了承ください。

1: 報告・発表の採否は、7月理事会で決定します。

2: 分科会への割り当ても理事会で決定しますが、なるべく発表者の希望に応じるために、以下のブロックのうち希望のものを明記してください。

- A ブロック: 文学関係
- B ブロック: 語学関係
- C ブロック: その他(思想史など)

3: 発表の持ち時間は、例年通り1人25分、質疑応答は5分とします(時間厳守。およその目安は、

400字詰め原稿用紙1枚の口頭発表が1分強です。

4: 発表にさいして機器(ビデオ、OHP、パワーポイント等)の使用を希望される方は、申し込みのさい、その旨を明記してください。申し込み後に機器使用の必要性が生じた場合は、すみやかに事務局までご連絡ください。会場施設を確認の上、希望される機器を使用することが可能かどうかお答えします。なお、会場の関係で、ご要望に応じることができない場合もあります。また、例年、発表の直前に機器使用の希望を申し出られる方がありますが、7月理事会(7月23日)でプログラムが決定しますので、この日までに申し出られるようお願いいたします。

5: 研究発表の採否、発表に関する約束事については、7月下旬ないし8月上旬に発表予定者に連絡します。発表に関する約束事をお守りいただけなかった場合、発表ができなくなる場合もありますので、ご注意ください。

6: 現時点でロシア文学会に加入していない方で、研究発表を希望される方は、研究発表の申し込みをする以前に、入会申込書をお送りください。入会申込書を送られていない方からの研究発表申し込みは、原則として受理しません。

7: また、研究発表会当日に上記以外の形式(ワークショップ、ポスターセッション等)の発表を希望される方は、発表の趣旨、形式・時間の希望を詳しく記述して、同じく上記期日までに事務局宛に送付して下さい(書式自由)。発表の採否、時間・場所については理事会が開催校と相談の上決定します。その他上記各項目の規定をお守り下さい。

3. 5月理事会関連事項

5月の理事会は、5月21日(土)に早稲田大学戸山キャンパス第3会議室で開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

入会者2名(「会員異動」の項参照)の入会が認められた。

沼野充義国際交流委員長より、国際シンポジウム「21世紀のチェーホフ」の事業報告・会計報告が行われた。また、今後の活動計画(ボリス・アクーニン氏講演会[6月9日]/静岡県主催国際文学シンポジウム[9月10日]/ワフタンゴフ劇場付属シューキン演劇大学学長クニャーゼフ氏招聘[2005年11月]が報告された(そのうち、静岡県主催国際

文学シンポジウムについてはこの会報の 3~4 ページをご覧ください。

安藤厚理事より日本ロシア文学会ロシア語教育委員会に関する内規案が提示され、7月の理事会より実質的に始動できるよう委員の人選を進めることとなった。

望月哲男学会誌編集委員長より第 37 号の編集状況が報告された。また、学会誌に関する規定の修正案（編集委員長を出した支部による委員 1 名の追加推薦の件）が示され、承認された。

佐藤純一理事の報告により、創価大学が 2009 年 4 月より事務局担当校となることが確認された。

研究発表の募集に関し、今年度はプレプリントが義務化され、ホームページに事前に掲載されることが確認された（別項「研究発表募集要項」参照）。

4. 会員異動

（2004 年 12 月～2005 年 5 月 受付順）

入会

〔氏名（所属／支部）専攻分野（推薦者）〕
吉住オリガ（米国ブラウン大学在学／関東）スラヴ言語学（ロシア語・チェコ語）（原求作、井上幸義）
ステラ・シヴァコーヴァ（創価大学文学部／関東）
外国人とくに日本人に対するロシア語教育（佐藤純一、栗原成郎）

退会

田中まづる 秋山 学
藤井一行 丹辺文彦

Основные положения по приему научно-исследовательских публикаций

Лица, желающие представить публикацию, посылают по почте ее заглавие и основные моменты содержания на адрес секретариата с обязательным получением до 15-го июля (пятница).

При этом, основной текст, за исключением заглавия, должен быть в пределах 400 знаков, а для русского языка – в пределах 150 слов. Форма написания свободная, но формат бумаги должен быть размером А4. Заявки, отправленные не по почте, к рассмотрению не принимаются. Также не принимаются заявки, поступившие после указанного срока. Об отказе рассмотрения таких заявок уведомляться не будет, поэтому просим позаботиться о своевременной отправке с соблюдением срока. С этого года стало обязательным послать препринты к секретариату (все препринты будут опубликованы на сайте Общества).

Кроме того, просим принять во внимание следующие моменты:

1. Вопрос принятия публикаций к докладу решается на июльском заседании совета Общества.
2. Распределение докладов по секциям также решается на заседании. Чтобы по возможности учесть пожелания выступающих, просим четко обозначить в заявке нижеуказанный раздел:
Раздел А: вопросы литературы
Раздел В: вопросы лингвистики
Раздел С: прочее (вопросы философии и так далее)
3. Время выступления с докладом, как обычно, 25 минут на каждого докладчика и 5 минут на вопросы. (Время строго соблюдается. Ориентировочно, для устного прочтения одного листа с текстом из 400 знаков требуется одна минута с лишним).
4. Лиц, желающих при выступлении пользоваться приборами и аппаратурой (видео, проектор ОНР, “ Microsoft Power Point ” и так далее), просим указать это при подаче заявки. При возникновении необходимости в аппаратуре после подачи заявки просим немедленно сообщить об этом в секретариат. Ответ о возможности использования аппаратуры будет дан после консультации с местом проведения. Кроме того, в зависимости от места проведения, пожелания выступающих могут быть не удовлетворены. Ранее бывали случаи заявок на пользование аппаратурой непосредственно перед выступлением, но после утверждения программы выступлений на июльском заседании совета (23 июля) такие заявки приниматься не будут.
5. Извещение о принятии доклада, о соблюдении обещаний, связанных с выступлением, будет объявлено выступающим в период с третьей декады июля по первую декаду августа. Просим принять во внимание, что при несоблюдении обещаний выступление может не состояться.
6. Лица, не являющиеся на данный момент членами Общества и желающие выступить с докладом, посылают заявку на выступление после отправки документов с заявлением о приеме в члены Общества. Заявки на выступление, поступившие до отправки заявления о приеме в члены Общества, рассматриваться не будут.
7. Лица, желающие вести workshop (симпозиум с участием слушателей), выставить научные материалы или сделать доклады другим путём, посылают по почте заглавие и план выступления на адрес секретариата с обязательным получением до 15-го июля (пятница) (и тогда просим соблюсти пункты 1, 4—6).

催し物情報（国際交流委員会より）

国際交流委員会では、国際的な学术交流にとって意義のある催し物についてできるだけ多くの情報を集め、HP に公開して学会員の皆様の便宜をはかろうと考えておりますが、その態勢を作るまでにまだしばらく時間が必要です。とりあえず、現時点で把握している重要な情報を会報に掲載させていただきます。

研究フォーラム『未来（ユートピア）への回帰 - ナショナリズムと越境』

日時：7月9日 1時～5時45分

場所：神戸大学国際文化学部 K201

主催：学術振興会人文社会科学振興プロジェクト - 1、第2グループ「越境と多文化」

共催：神戸大学国際文化学部、21世紀COEプログラム「スラブ・ユーラシア学の構築」（北海道大学スラブ研究センター）

協力：阪神ドイツ文学会

第一部 シンポジウム 司会：阿部賢一（武蔵大学、中欧文化論）パネリスト：前田良三（立教大学、ドイツ文化論）沼野充義（東京大学、スラヴ文化論）濱田麻矢（神戸大学、中国文化論）コメント：西成彦（立命館大学、比較文学論）岡田浩樹（神戸大学、韓国・朝鮮文化論）

第二部 特別講演「愛国主義、ナショナリズム、そしてノスタルジア：亡命ロシアの三つの波（個人的印象と文学的事例）」（ロシア語、通訳つき）講師：ミハイル・メイラフ（ストラスブール大学／北海道大学スラブ研究センター・ロシア文化論）通訳：浜田真里

*なお、本企画は翌10日甲南大学において開催される阪神ドイツ文学会シンポジウム「境界を引く・境界を越える ナショナリズムと越境」（パネリストとして沼野充義氏が参加）との関連企画です。

詳細は 日本ロシア文学会ホームページ「会と催し」欄をごらんください。

連絡先：楯岡求美（神戸大学）：(078)803-7441, Email:kumi3@kobe-u.ac.jp

第5回しずおか世界翻訳コンクールおよび第5回国際シンポジウムのご案内 （日本ロシア文学会協賛）

静岡県は平成7年より「しずおか世界翻訳コンクール」を開催し、若手翻訳者の育成を図り、国際交流に貢献してきました。現在審査が進められている第5回コンクールでは英語の他にロシア語がはじめて課題言語となりましたが、反応は極めて活発で、世界各国からロシア語部門（日本語からロシア語への翻訳）に110人も応募がありました。

この翻訳コンクールの入賞者の表彰式に併せて、本年9月10日（土）には、静岡市内で「しずおか世界翻訳コンクール」10周年記念の第5回国際文学シンポジウムが盛大に開催される予定です。シンポジウム講師の多くは日本ロシア文学会会員であり、また内容も日本ロシア文学会の研究分野とぴったり重なりますので、このシンポジウムに協力することは大いに有意義であるとの判断から、日本ロシア文学会は協賛団体として名前を連ねることになりました（2005年5月21日理事会承認）。

以下、シンポジウムとその関連行事に関するご案内を掲載させていただきます。日本ロシア文学会会員の皆様の積極的なご参加を歓迎いたします。なお、シンポジウムは入場無料ですが、事前に申し込みが必要です。受付の開始は7月以降になりますが、日本ロシア文学会の会員の皆様にはまとめて優先的に座席を確保させていただきます。

日本ロシア文学会側では、これまで企画に協力してきた関係から、国際交流委員会がこの協賛事業に対応いたします。この企画についてのより詳しいご案内や、宿泊、静岡県のロシアゆかりの地の情報などは静岡県からの提供を受け、会員の皆様にはまた改めてお送りいたします。座席の予約方法などにつきましても、もう少し近くなりましたら改めてご連絡いたします。

（国際交流委員長 沼野充義記）

静岡県主催者側の問い合わせ先は：

静岡県教育委員会文化課 担当 佐々木さん、藤田さん

電話：054-221-3109 FAX：054-250-2784

（次ページ参照）

第5回 国際文学シンポジウム

2005年9月10日(土)

会場 静岡県 あざれあ大ホール(静岡駅より東海道線沿いに西へ徒歩10分)

第5回しずおか世界翻訳コンクールの課題となった英語・ロシア語の中で、今回初の課題言語であるロシア語にスポットを当て、ヘダ号や橘耕斎など、静岡とロシアの深い関係を検証する。

時間	演題	出演	内容
午前10時～11時	ロシアと静岡 露仏辞典をめぐって	一橋大学名誉教授 中村 喜和	ゴロウニンが所持していたタシチェフの露仏辞典の同時公開展示にあわせ、日露文化交流の歴史を、静岡との関係を含めて解説していただく。
午前11時10分～午後0時	ロシアにおける日本文学の翻訳	静岡大学教授 田村 充正 神戸市外語大学教授 リュドミラ・エルマコワ 同志社大学教授 イリナ・メリニコワ	ロシアではこれまで、古典から現代文学まで、日本文学がどのように翻訳され、読まれてきたのか、それぞれの方の専門の立場から討議していただく。
午後1時～1時10分	開会・主催者挨拶	委員長(副知事) 鈴木雅近	シンポジウム全体のテーマの説明。
午後1時10分～2時	私とロシア ロシアの魅力	作家 米原 万里 東京大学教授 沼野 充義	ロシア語会議通訳として豊富な経験を持ち、文筆家として活躍されている米原万里氏と、コンクール審査委員の沼野がロシアの魅力を語り合う。
午後2時10分～3時	講演	翻訳コンクール企画委員 山崎 正和	
午後3時10分～3時50分	第5回しずおか世界翻訳コンクール表彰式	実行委員会会長 (知事)石川嘉延 他	英語部門・ロシア語部門の最優秀賞・優秀賞受賞者6名の表彰および審査委員による講評
午後4時～4時50分	「翻訳」の今後 しずおか翻訳コンクールの未来	ドナルド キーン 大岡 信 (司会) 戸谷美苗	しずおか世界翻訳コンクールの生みの親である大岡氏と審査委員長のキーン氏による対談。

終了後入賞者祝賀交流会 浮月楼(徳川慶喜邸跡) ギャラリー館

<記念合同企画>

静岡県立中央図書館創立80周年記念・しずおか

世界翻訳コンクール10周年記念

「藝文庫」と翻訳の世界

1 記念特別展示 ～世界とつながる「藝文庫」～

会場 静岡県庁 別館 21階展望ロビー(県庁別館は、静岡県から北へ徒歩10分、駿府城跡)

期間 9月5日(月)から9月16日(金)

展示品:ゴロウニン所持『露仏辞典』下巻(上巻:一橋大学図書館所蔵も同時展示)、オランダ語訳本ゴロウニン『遭厄日本記事』、露字ニテ地名記入ノ北半球図同日本図異国船記入ノ北海道図(大黒屋幸太夫将来)、享和仙台漂流民魯国ヨリノ往復道筋 魯西亜国都ノ図写、ロシア都城図(ペテルブルグ図)他多数の貴重図書

2 県民レクチャーシリーズ ～「藝文庫」と翻訳～

貴重書展示が行われている県庁別館21階展示ロビーを会場として、展示中の貴重書の解説を織り交ぜながら、静岡と諸外国とのつながりや翻訳のながれなどについての連続レクチャーを9月5日～9月9日に開催。ロシア関係では、以下の講義が予定されている。

9月9日(金)午後6時30分～7時30分(予定)

講師 静岡大学教授 田村 充正氏

日本ロシア文学会会報第26号

(2005年6月15日発行)

発行人 川端香男里

編集人 日本ロシア文学会事務局

〒162-8644

東京都新宿区戸山 1-24-1

早稲田大学文学部 露文専修室内